

	<h1>志木三小だより</h1> <p>学校教育目標</p> <p>賢く 優しく 逞しく</p>	志木市立志木第三小学校
		平成29年度 第3号
		平成29年6月1日
		志木市柏町3丁目2番1号
		TEL 048 - 471 - 1062
		児童数6月1日現在608名



さあ！掃除の時間です

校長 可知 良之

今年、本校で重点的に取り組んでいることの一つが「黙って掃除」です。ほこりを吸い込まないようにという衛生面での効果もありますが、黙って黙々と清掃活動に取り組むことで、掃除に対する姿勢を培うことが主たるねらいです。慣れてくると手際も良くなり、美しく仕上がった清掃場所に笑顔を見せてくれる子もいます。

日本の小学校では子供たちが自分たちの教室だけでなく廊下や階段、トイレなど学校施設を掃除することが当たり前ですが、海外ではそうではないようです。以前カナダの小学校に研修で一ヶ月ほど滞在したことがあります。子供たちの日課には掃除というものは一切ありませんでした。掃除は専門の職員が行うので子供はしないとのこと。日本では6歳の子供も学校の掃除をするのだと話すと、それは素晴らしいことですねと、たいそう感心されました。掃除も教育活動の一つとして取り入れている日本は素晴らしいと感じたものです。

校長という仕事柄、県内県外を問わずいろいろな学校を訪問することがありますが、落ち着きがあってとても印象の良い学校は必ず玄関が美しいと感じます。そして、いわば学校の顔とも呼ぶべき玄関の清掃担当は、だいたい最高学年の6年生と相場が決まっています。本校でも来客用の玄関掃除は伝統的に6年生の担当場所となっています。

私が小学生の時も玄関掃除は6年生の役

目でした。ただし、6年生の中でもその大役を果たせるのは1クラスだけです。ちょうど我が6年4組がその担当となりました。初めのうちは広いし、すのこの上げ下げは重いし大変な作業にうんざりしていましたが、担任の先生の発案で毎月1回土曜日の午後に弁当持ちで清掃場所のワックスがけをすることになりました。土曜日の午後の自由参加という気楽さもあってなのか、黙って掃除とはいきませんが楽しくわいわい掃除をしたことが思い出に残っています。そして、自分たちがこの場所を任せきれいにしているのだといった自負心が少しずつ芽生えてきました。この掃除は1年間続けられ、いつでも我がクラスの掃除場所はピカピカしていると、クラスの自慢の一つになりました。卒業も間近となり掃除場所も5年生に譲り渡す時がきました。そして卒業式の当日、式典も終わりクラスでの最後の授業を終えて玄関から出ようとしたとき、クラスの一人が「玄関が汚れているね。」と一言言いました。自分たちが1年間きれいにしてきた場所を磨き上げて卒業しようとして誰ともなく掃除が始まり、クラスみんなで最後の掃除をして学校を卒業していきました。掃除を通して母校を思う気持ちが培われたのかもしれない。

1日僅か15分の掃除ですが、多くの大切なものを子供たちは学び取っていくと思います。今日も子供たちは「黙って掃除」頑張っています。